

日米のあいさつ言葉とあいさつの習慣

(Words of Greeting and the Culture of Greeting in Japan and America)

クアン ステファニー (Stephanie Kuang)

82-271 : Intermediate Japanese I

この作文では、日本とアメリカのあいさつ言葉とあいさつの習慣について書こうと思う。そのあいさつ言葉を見たとき、日本とアメリカの習慣はどう違うかが見られる。まず、日本人はあいさつの後、よく天気の話をするそうだ。例えば、「いい天気ですね」とか「寒いですね」とかよく言うそうだ。そして、日本人は同じ日に2回目に会った人には、もう一度あいさつせずに会釈をするそうだ。あいさつしないで頭をちょっと下げおじぎをするだけでいい。最後に、日本人はエレベーターで一緒になった時など、知らない人にはあいさつしないそうだ。アメリカでは、変だから、あまり天気の話をしてない。次に、人に同じ日に2回目に会ったら、日本と違い、もう一度あいさつをすればいい。特に近い友達には大抵もう一度あいさつをする。そして、エレベーターで知らない人を見たら、時々あいさつをしてもいい。例えば、会社やアパートのエレベーターでは大抵あいさつをする。二つの習慣を見たとき、日本のあいさつの時に、たくさんのルールがあるみたいだ。私は、日本語の先生と話した時、先生は私の話し方が変だと言った。日本では、どういう時に何と言ったらいいか覚えることも大切みたいだ。結論として、アメリカの会話のほうが日本の会話よりもっと自由だと考える。